

「東京科学大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：後腹膜の筋膜構造に関する解剖学的研究

東京科学大学医学系倫理審査委員会承認番号：第 M2019-075 番

研究実施期間：研究実施許可日から西暦 2029 年 3 月 31 日まで

研究目的：

腎臓、副腎、尿管および性腺血管は後腹膜という領域に存在します。これらは後腹膜内の線維や脂肪からなる結合組織に包まれています。この結合組織の中には線維性の膜構造からなるいわゆる境界が存在し、これは筋膜と呼ばれます。後腹膜の筋膜には腎筋膜、外側円錐筋膜、腹膜下筋膜、Toldt's 筋膜などが知られていますが、その構造や関係、周囲との連続性についてはいまだ様々な解釈がありその認識は統一されていません。

また、近年は内視鏡下手術の発展が目覚ましく、後腹膜臓器をあつかう手術（腎臓癌、腎盂癌、尿管癌、副腎腫瘍などに対する手術）でも内視鏡下手術が広く行われるようになりました。より安全で根治的な手術を実現するためには、後腹膜の筋膜構造に関しての術式に沿った認識が重要となります。

本研究の目的は、後腹膜を構成する筋膜構造を解剖体を用いて研究しその知見を深め、後腹膜臓器に対する手術の発展に寄与する解剖学的基盤を構築することです。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京科学大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守し、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠し行って参ります。また、研究の実施に当たっては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」およ

び日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、後腹膜の筋膜構造を観察します。組織標本を作製し、顕微鏡的にも筋膜の構造や関係を調査します。この研究が後腹膜手術における術野の筋膜解剖の理解を深め、手術の安全性および根治性の向上という手術の発展に貢献できると考えています。

研究実施期間は研究実施許可日から西暦 2029 年 3 月 31 日までになります。この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、連結可能匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学系倫理審査委員会で承認された後、改めて HP 上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京科学大学大学院 臨床解剖学分野 秋田恵一

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）